

# 地元小学生が土砂災害の仕組みや砂防施設の役割を学びました！

～紀伊山系砂防事務所～

紀伊半島大水害で大きな被害を受けた那智勝浦町色川地区の小学生が土砂災害啓発センターを訪れ、土砂災害について学びました。和歌山県土砂災害啓発センターから「流れる水のはたらき」や「大地のつくりと変化」と題した土砂災害の仕組みに関する授業、紀伊山系砂防事務所那智勝浦監督官詰所から「地面の中を見てみよう！」と題した地質調査に関する授業を行い、生徒の皆さんが熱心に聴講しました。

<開催日>  
令和5年9月26日（月） 9:10～11:00

<開催場所>  
和歌山県土砂災害啓発センター（和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027番6）  
鳴子谷川1号砂防えん堤（和歌山県那智勝浦町市野々地先）

<参加者>  
那智勝浦町立色川小学校5年～6年生【計9名】



## ○流れる水のはたらきと土砂災害の関係性、地元の地質について学びました！

**流れる水のはたらき  
大地のつくりと変化**

<講師>  
和歌山県  
土砂災害啓発センター  
ハゲヤマ  
岐山主査



**地面の中を  
のぞいてみよう！**

<講師>  
紀伊山系砂防事務所  
那智勝浦監督官詰所  
追鳥建設専門官



## ○実際の砂防えん堤と地層を見学しました。模型で砂防えん堤の役割も学びました！

**砂防えん堤で  
実地体験**



**模型で  
実験**



### 《生徒さんの感想》

- ・僕たちが住んでいるところにも大きな砂防えん堤があります。それがとても重要なものだということがわかったので、これから意識して見ていきたいと思います。
- ・ボーリングコアをたたくと、かたい岩は高い音がするということがわかり勉強になりました。
- ・砂防えん堤を見たときに、大雨で上の方まで水がたまったことがあるという話を聞いてとてもびっくりしました。